

現代政策学部

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

現代政策学部社会経済システム学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、多様な文化を認め合う社会の実現に向けて貢献できる人物を育成します。本学部学科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点での評価と、以下の知識や技能を身につけたかという視点での審査により、学士の学位を授与します。

1. 学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。

2. 大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。

3. 自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野（政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報）を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

現代政策学部社会経済システム学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1.人間形成の過程で必要となる学びを提供するために、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する自立的な姿勢と倫理観、人類文化社会へ貢献するための意識を養うという視点で本学部学科のカリキュラムを策定し、そのために必要な全学部共通科目を含む必修科目・演習科目・キャリア系科目を学生の段階的な成長を促すように設定する。その評価は、論述考査等による審査のほか、長期型ルーブリックを用いた学生自身による自己評価と振り返りを基本として、総括的に行う。

2.“協創”による社会問題の解決に取り組むための課題解決型授業、学内外連携授業等の科目を、全学共通科目を含めて設定し、系統的にカリキュラムに組み込む。その評価には、論述考査等による審査のほか、ルーブリックを用いた自己評価・ピア評価を含めた多様な視点を取り入れ、学習の成果物はポートフォリオに蓄積して、自身の振り返りを促す。語学力については、大学共通基本科目を含む外国語・日本語の必修科目において、個人のレベルに合った学習を可能にする。

3.現代政策学部社会経済システム学科において求める専門知識や技能の修得、および幅広い分野に関する教養を身につけるという視点でカリキュラムを策定し、政策学と学生自身が設定した政策分野に通じた人間を育成する。政策学については必修科目を設定し、政策学に関連する科目については、学生が自ら自身の学びを選択できるよう、複数の主要分野（政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報）を選択必修科目として設定する。加えて「公共政策」「地域創生」「多文化社会」の3コースを設定し、学生の目標に沿った順次性のある体系的な学びを実現する。

各科目の評価には形成的評価を取り入れ、論述考査等による審査のほか、各科目の特性に合わせて総括的評価を実施し、その成果については GPA 等を用いて学生に対してフィードバックを行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

現代政策学部社会経済システム学科では、自身の発見や自身を大きく成長させるために必要な学びを提供し、社会を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、社会貢献への意識を養う教育を行います。そのため以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

1.多様な事象に興味を持ち、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって学ぶ意思を有する人

2.他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組む意思を有する人

3.現代政策学部社会経済システム学科における専門知識や技能を修得し、幅広い分野に関する教養を身につける意欲があり、そのために必要な本学部学科で指定する教科の学習に取り組んでいる人

現代政策学部社会経済システム学科のアドミッション・ポリシーに基づき、多様な形態の入学試験によって、学力の三要素、すなわち「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」等の資質・能力を評価し、本学部学科の教育目的に相応しい人材を選抜します。

学校推薦型選抜

本学が定める推薦基準を満たし、高等学校長から推薦される人を対象に、書類審査（出願書類）、面接・口頭試問により、資質・能力を評価・審査します。

総合型選抜

書類審査（出願書類）、面接・口頭試問、プレゼンテーション、基礎学力検査、小論文などにより、資質・能力を総合的に評価・審査します。

一般選抜

本学独自の学力検査と書類審査（出願書類）により、知識・能力を評価・審査します。学力検査では、本学部学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストと書類審査（出願書類）により、知識・能力を評価・審査します。本学独自の学力検査は行いません。大学入学共通テストの結果により、本学部学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

編入学試験

多様な入学経路を確保し、優秀な人材を受け入れるための制度です。他大学、短期大学または高等専門学校を卒業した人（学士入学・編入学試験）、他大学に在籍中の人（転入学試験）を対象とします。書類審査（出願書類）、本学部学科独自の学力検査、面接・口頭試問により、資質・能力を評価・審査します。

外国人留学生入学試験

外国人留学生を対象とし、国際的に活躍しうる有為な人材を募ることを目的とした入試制度です。書類審査（出願書類）、本学部学科独自の学力検査または日本留学試験、面接・口頭試問により資質・能力を評価・審査します。

（2024年4月入学者用）